

## ◆勉強の基礎って何だ？

### ○なにをもって基礎完成というか

現象を扱う理科や、歴史的地理的事実を扱う社会は比較的イメージが沸いても、国語や英語、数学は概念的抽象的な要素が多く、苦手意識を持たれやすい。だからこそ、この3教科は受験で勝負の分かれ目になります。

基礎が完成しているというのは、その科目特有の根底にある考え方がわかっているということです。単に問題が解けること以上に、学問の一つとして「何を伝えようとしているのか」がきちんと教科書などから読み取れている・理解できているということが大切です。教科書の文章や証明問題は、完全に理解できていますか？その作業がブレない礎を作っていきます。入試においては、問題文から隠された意図を読み取ろうとする意識を持つことも重要です。採点するのは大学側です。相手が何を要求しているのか、それを答案に記すのです。本質を押さえてある程度まで学習していくと、問題文(作問者)と対話ができます。「はいはい、こういうことが言いたいよね」というふうに。例として東大の問題を紹介しておきます。



1. (2) 一般角  $\alpha$ ,  $\beta$  に対して  
$$\sin(\alpha + \beta) = \sin\alpha \cos\beta + \cos\alpha \sin\beta,$$
$$\cos(\alpha + \beta) = \cos\alpha \cos\beta - \sin\alpha \sin\beta$$
 を証明せよ。 (1999年 東大文理全類)
2. (1)  $5^n > 10^{19}$  となる最小の自然数  $n$  を求めよ。  
(2)  $5^m + 4^m > 10^{19}$  となる最小の自然数  $m$  を求めよ。 (2024年 東大文科全類)

### ○基礎固めをする方法は

理想は、なぜこの公式が成り立つのか、どうしてそう読み取れるのか、そういったことを一つ一つ時間をかけて、学問を楽しむこと。自分なりに考え、まずペンを走らせ、チャレンジしてみること。しかし、苦手な科目こそ楽しむことなんかできないはず。「習うより慣れよ」という言葉もあります。とにかく最初は嫌でも息を吸うように、日常的にその教科(科目)に触れること。詰め込みも時には必要です。特に主要3教科はこれまでの積み重ねがものを言います。自信がなければ中学校からやり直してください。語彙や文法、定理など使っているうちに論理が見えてくることもあります。3年生諸君は、タイパコスパを重視しすぎると力がつかないので要注意！

## ◆勉強と部活の両立のコツ(3年生に聞きました！)

### ◇普段の過ごし方、意識していることは？

私は学校の授業を一生懸命受けて、それ以外では部活と趣味に没頭するというスタイルで2年間過ごして来ました。自分でその日にやることを決めて時間をコントロールする意識を持つことを大切にしてきました。



### ◇後輩に向けてアドバイスをお願いします！

体調を崩してしまうと、様々なことが疎かになってしまうので、睡眠は大事にした方がいいと思います。一度しかない高校生活、楽しんでください！（野球部3年Kさん）

### ◇担任から見て良いと感じる点

- ①規則正しい生活リズム
- ②自分で時間をコントロールできる
- ③自分なりの勉強スタイルがある

ある時期だけ追い込んで勉強をしても体がついていきません。また、やられている勉強というのは、実は何も頭に残らないのです。みなさんも上記3つを意識してみましょう！

## ◆保護者対象進路説明会が無事終了しました

1学年230名、2学年169名、3学年154名の保護者の皆様にお越しいただきました。平日のお忙しい時間帯にも関わらず、貴重なお時間をいただき誠にありがとうございました。

